一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

cma!
Change Maker Awards

中高生のための英語×探究
プレゼンコンテスト
第6回
Change Maker Awards（CMA）
開催概要

全国大会：2024年3月24日（日）
開催場所：東京国際交流館 プラザ平成

主催：一般社団法人英語 4技能・探究学習推進協会
CMA実行委員会

※内容は変更される可能性がありますのであらかじめご了承ください。

2024年1月15日 更新
2023年5月23日 作成

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

協賛・後援

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

協賛

- 株式会社JTB
- 株式会社ジャパンタイムズ出版
- 株式会社ECC
- テンプル大学ジャパンキャンパス

後援

- 文部科学省
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）
- 公益社団法人 全国学習塾協会

（その他省庁、団体へも後援を申請しています）

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

中高生のための英語 × 探究
プレゼンテーションコンテスト

第6回 cma!

Change Maker Awards

英語４技能 × 探究

日時 2024年3月24日(日)

場所 東京国際交流館 プラザ平成

〒135-0064 東京都江東区青海２丁目２－１

・新交通ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル」駅 東口 徒歩３分
・新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅 北口 徒歩７分
・東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート」駅 徒歩 15 分

スケジュール

- 2023年 6月 プレエントリー受付開始
- 2023年11月 本エントリー受付開始
- 2023年12月 地方ブロック予選開催
- 2024年 2月 地方ブロック決勝開催
- 2024年 3月 全国大会開催

入賞特典

※下記は前回内容です。内容は変更されることがありますのでご了承ください。

全国大会で入賞した方には各賞の授与と学習支援プログラムを提供

★金賞：60万円分の学習支援プログラム
★銀賞：40万円分の学習支援プログラム
★銅賞：30万円分の学習支援プログラム

※海外留学や英会話教室などが選べます
※その他参加賞やスポンサー賞もご用意

出場者募集 !!

詳細は Web サイトをご覧ください

https://esibla.or.jp/change-maker-awards/

CMA コンテスト 検索

一般社団法人 英語４技能・探究学習推進協会
〒108-0014 東京都港区芝５丁目１４－１３ アセンド三田７階

お問い合わせ

TEL 03-4405-3630
E-mail info@esibla.or.jp

主催

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

cma! Change Maker Awards

CMA 実行委員会

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

cma!
Change Maker Awards

概　要

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

Go! Do! Be!

《Change Maker》とは、すなわち「Go！Do！Be！」の3要素を体現する人物のことです。

果敢に前進（go）、実施（do）、そして実現（be）するような人。
本コンテストでは、このような人を応援します。

インターネットで世界中につながる便利な世の中だからこそ、そんな世の中を先頭切って導いていく人物が求められています。

明るいようでいて混迷を極めるようでもある今の社会。
その中で自ら道を切り開き行動できる人材を応援したいと思っています。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

Change Maker Awards

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

Change Maker Awards（CMA）は、中高生のための英語プレゼンテーションコンテストです。生徒は、自分が夢中になっている「探究」について英語でプレゼンテーションを行い、競い合います。

予選と全国大会の審査では、英語力が 2割、探究学習の内容が 8割を占めます。CMAは、自分が探究しているモノ/コトのインパクトを信じている方、それらを世界へ発信しようとする方が競い合う場です。

cma!
Change Maker Awards

CMA全国大会受賞者、および全国大会出場者には、一人最大 60万円の国内外学習支援プログラムを用意しております。

探究学習のさらなる高みを目指し、国内外で見聞を広めたい中高生の皆さんのご応募をお待ちしております。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

プレゼンテーションのテーマ

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

個人部門

「世界に伝えたい私の探究」
—Show your Research/Action to the World—

「世界に伝えたい私の探究」をテーマにして、自分が熱中している・夢中になっている探究の「成果」をプレゼンテーションしてください。

チーム部門

「私たち×〇〇」
—Attract the World with your Research/Action—

「私たち×○○」をテーマにして、自分たちが熱中している・夢中になっている探究の「成果」をプレゼンテーションしてください。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

大会スケジュール

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

プレエントリー	
2023年　6月	プレエントリー受付開始
11月15日（水）	プレエントリー受付締切
本エントリー	
11月16日（木）	本エントリー受付開始 ・地方ブロック予選用エッセイ受付開始
12月14日（木）	本エントリー受付締切 ・地方ブロック予選用エッセイ受付締切
地方ブロック予選	
12月15日（金）	地方ブロック予選審査開始
12月26日（火）	地方ブロック予選結果発表 ・予選を通過した個人・チームは地方ブロック決勝へ進みます
地方ブロック決勝	
12月27日（水）	地方ブロック決勝用動画受付開始
2024年　2月　2日（金）	地方ブロック決勝用動画受付締切
2月　3日（土）	地方ブロック決勝審査開始
2月13日（火）	地方ブロック決勝結果発表 ・地方ブロック決勝を通過した個人・チームは全国大会へ進みます
全国大会	
2月14日（水）	プレゼン資料受付開始
3月10日（日）	プレゼン資料受付締切
3月24日（日）	全国大会開催

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved

エントリー

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆個人部門とチーム部門

CMAでは、個人部門とチーム部門の2つの部門に分けて審査を行います。エントリーは、個人部門、あるいはチーム部門のどちらか一方にのみ可能です。両方の部門に応募することはできませんのでご注意ください。
過去にCMAにエントリーしたことのある方、あるいは出場したことのある方が再びエントリーすることもできます。1校から何人・何チームでもエントリーできます。
※海外在住の方は、全国大会開催時に日本に居住している場合に限りエントリーいただけます。交通費は、日本の居住地から会場までの移動にかかる費用をお支払いします。

◆チーム部門のエントリー人数

チーム部門でエントリーできる人数は、1チームにつき2人から4人までです。なお、1つのチームにエントリーした人は、他のチームからエントリーすることはできません。

	参加可能人数	同じ部門への重複エントリー	他の部門への重複エントリー	前回エントリーしたことのある方のエントリー	1つの学校からのエントリー
個人部門	1人	できません	できません	できます	何人でもOK
チーム部門	2人～4人	できません	できません	できます	何チームでもOK

◆参加フロー

CMAに参加するには、「プレエントリー」への手続き、および「本エントリー」への手続きが必要です。手続きは、(1)CMAに出場を希望する生徒本人、(2)生徒の保護者、(3)生徒の担当教員(担任、英語科教員など)が行ってください。

◆エントリー方法

CMAのWebサイトから「プレエントリー」および「本エントリー」の手続きができます。お手持ちのパソコン、あるいはスマートフォンなどを使ってお手続きください。なお、郵便やFAXなどによるエントリーの受付は行っておりません。特別な事情がある場合はお問い合わせください。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

エントリーの手順

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

エントリーは（1）プレエントリー、（2）本エントリーの順番で行ってください。

プレエントリーをせずに本エントリーから始めることもできますが、なるべくプレエントリーから始めるようにしてください。

◆プレエントリー（2023年6月）

CMAへの参加を希望される方は、まず、**プレエントリー**にて出場の意思表明をしてください。プレエントリーでは、出場希望者の名前やメールアドレスなどの情報等を登録していただきます。お手持ちのPCやタブレット、スマートフォンなどからエントリーできます。なお、オンライン以外でのエントリーは行っていませんのでご了承ください。

◆本エントリー（2023年11月）

プレエントリーが済んだら、次は**本エントリー**の手続きをしていただきます。本エントリーでは、地方ブロック予選用のエッセイを提出していただきます。
本エントリーの締切後に地方ブロック予選が行われます。地方ブロック予選を通過した人は地方ブロック決勝へ進み、地方ブロック決勝を通過した人が全国大会に出場できます。

◆エントリーの手続きができる人

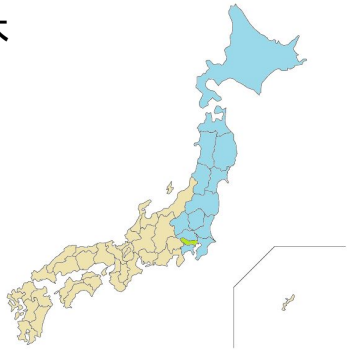
プレエントリー、および本エントリーの手続きができる方は、（1）出場希望者本人、（2）本人の保護者、（3）学校の担当の先生のいずれかです。
担当の先生の場合、個人部門 最大5人まで、チーム部門 最大5チームまで一括してエントリーできます。
※6人以上、あるいは6チーム以上エントリーする場合は再度エントリーしてください。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

予選・決勝ブロック

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

第6回CMAでは、日本を東日本ブロック、東京ブロック、西日本ブロックの3ブロックに分けて地方ブロック予選・決勝を行います。



東日本ブロック

東日本ブロック予選、東日本ブロック決勝を開催します

対象地域：北海道　青森県　岩手県　宮城県　秋田県　山形県　福島県
茨城県　栃木県　群馬県　埼玉県　千葉県　神奈川県

東京ブロック

東京ブロック予選、東京ブロック決勝を開催します

対象地域：東京都

西日本ブロック

西日本ブロック予選、西日本ブロック決勝を開催します

対象地域：新潟県　富山県　石川県　福井県　山梨県　長野県　岐阜県
静岡県　愛知県　三重県　滋賀県　京都府　大阪府　兵庫県　奈良県
和歌山県　鳥取県　島根県　岡山県　広島県　山口県　徳島県　香川県
愛媛県　高知県　福岡県　佐賀県　長崎県　熊本県　大分県　宮崎県
鹿児島県　沖縄県

※エントリー数によってブロックの割り当てを変更する場合があります。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved

審査の流れ（1）

第6回 Change Maker Awards（CMA）では、地方ブロック予選、地方ブロック決勝、全国大会を開催します。審査は、個人部門とチーム部門に分けて行います。

地方ブロック予選

地方ブロック予選に出場するには、**本エントリーでエッセイを提出し手続きを済ませる必要があります**。
地方ブロック予選は、日本全国を東日本ブロック、東京ブロック、西日本ブロックの3ブロックに分けて開催します。
地方ブロック予選では、審査基準に基づいて書類審査を行います。そして、評価の高かった個人・チームに地方ブロック決勝への出場権が与えらえます。
※各ブロック 20人・20チーム前後、合計 60人・60チーム前後が地方ブロック決勝へ進出します。なお、審査結果によって決勝に進出する人数に増減の生ずる可能性があります。

地方ブロック決勝

地方ブロック決勝では、地方ブロック予選を通過した個人・チームを対象に審査基準に基づいて動画審査を行います。
それぞれのブロックにおいて1位を獲得した個人・チームに全国大会への出場権が与えられます。
なお、1位の個人・チームには「地方ブロック金賞」、2位の個人・チームには「地方ブロック銀賞」、3位の個人・チームには「地方ブロック銅賞」を授与します。

各ブロックで2位以下の個人・チームの中から、評価の高かった7人・7チームに全国大会への出場権が与えられます。
※全国大会は10人・10チームが出場します。
※地方ブロック決勝で2位に入賞しても評価が低ければ全国大会に出場できない場合があります。
一方、地方ブロック決勝で4位になったとしても評価が高ければ全国大会に出場できる場合があります。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

審査の流れ(2)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

地方ブロック予選

個人部門

- 東日本ブロック
- 東京ブロック
- 西日本ブロック

に分かれて**書類審査**を実施

チーム部門

- 東日本ブロック
- 東京ブロック
- 西日本ブロック

に分かれて**書類審査**を実施

各ブロックの上位20人・20チームが地方ブロック決勝へ進出

個人部門から合計60人
チーム部門から合計60チーム
が決勝進出

地方ブロック決勝

個人部門

- 東日本ブロック
- 東京ブロック
- 西日本ブロック

に分かれて**動画審査**を実施

チーム部門

- 東日本ブロック
- 東京ブロック
- 西日本ブロック

に分かれて**動画審査**を実施

各ブロックの上位1人・1チーム(計3人・3チーム)、および全ブロックの中から上位7人・7チームが全国大会へ進出

全国大会

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

入賞特典・参加特典

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

全国大会に出場した個人部門（10人）・チーム部門（10チーム）の中から金賞、銀賞、銅賞を授与し、学習支援プログラムを提供します。
スポンサー賞（個人部門 1人、チーム部門 1チーム）も用意しております。
入賞できなかった個人・チームには全国大会出場賞を授与し、学習支援プログラムを提供します。（今大会から参加賞の名称を全国大会出場賞に変更しました）
学習支援プログラムには、提携する語学学校が提供する海外留学や英会話スクール、オンライン英会話スクールなどがあり自由に選ぶことができます。

学習支援金は、金賞 60万円、銀賞 40万円、銅賞 30万円、全国大会出場賞 10万円です。 **（前回より金額をアップしました）**

金賞

個人部門：1名
チーム部門：1チーム
60万円分の学習支援プログラム

銀賞

個人部門：1名
チーム部門：1チーム
40万円分の学習支援プログラム

銅賞

個人部門：1名
チーム部門：1チーム
30万円分の学習支援プログラム

スポンサー賞

個人部門：1名
チーム部門：1チーム
スポンサー企業による賞品授与

全国大会出場賞

個人部門：6名
チーム部門：6チーム
10万円分の学習支援プログラム

※チーム部門の方には、一人ひとりに上記学習支援金を支給します。
※学習支援プログラムを金銭に換えて受け取ることはできません。
※学習支援金を超える額の学習支援プログラムもお申し込みいただけます。ただし、超えた分は利用者負担となります。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

スポンサー賞（チーム部門）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

金賞～銅賞の他に、CMAのスポンサーによる「スポンサー賞」があります。
Global Link賞は、株式会社 JTBによるスポンサー賞です。（第 1回から設置）

Global Link賞（第1回～）

Global Link

世界とつながる教育プログラム

Global Linkは、共通の興味関心を持つ他国からの参加生徒に向けて、自分の研究内容を英語で発表・議論でき、交流出来る課題研究グローバルコンテストです。研究内容や英語での発表をブラッシュアップできる事前プログラムもご用意し、中高生の皆さんの参加をお待ちしています。
Global Link賞を受賞したチームには、Global Link Singapore の出場権を授与し、参加費用は無料で招待されます。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

スポンサー賞（個人部門）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

The Japan Times Alpha賞は、株式会社ジャパンタイムズ出版によるスポンサー賞です。（第3回から設置）

The Japan Times Alpha賞（第3回～）

the japan times alpha

The Japan Times Alphaは日本で最も歴史のある英字新聞社ジャパンタイムズが発行する週刊英語学習紙です。時事英語を大量に読み込むことを通してリアルな英語の習得を目指すことをコンセプトに、1951年の創刊以来、時代に合わせたリニューアルを重ねながら、70年にわたり熱心な英語学習者に親しまれています。

The Japan Times Alpha賞は、個人部門の出場者へ贈られます。

The Japan Times Alpha賞を受賞した生徒には、以下の特典を授与します。

・The Japan Times Alpha紙の1年間無料購読
・The Japan Times Alpha紙のデジタルビューアを通しての 1年間無料購読
　※デジタルビューアを利用するための IDとパスワードを発行します。
　※IDとパスワードは、受賞者の所属する学校のすべての方が利用できます。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

cma!
Change Maker Awards

地方ブロック予選

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック予選

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

地方ブロック予選では、エッセイを審査して地方ブロック決勝進出者を選出します。出場者は、審査当日に参加する必要はありません。
エッセイは日本語で800字程度で書いてください。また、**エッセイには必ず英語でタイトルを付けてください**。
※「800字程度」の文字数は、720文字以上880文字以下を目安にしてください。あまりにも少ない文字数・多い文字数にならないようにご注意ください。
※タイトルの例（第4回CMAの例）:「Using Plastic Waste to Create Homes and Shelters」、「The Shibuya Olympiad of Liberal Arts SOLA 2021」

エッセイの提出はオンラインで行っていただきます。提出方法については、本エントリー受付開始間近に電子メール、Webサイトにてお知らせします。

エッセイの内容について

◆個人部門

本選でプレゼンする探究学習について、以下の4点を述べてください。

1. 探究に至る背景
2. 探究の目的
3. 探究の成果
4. 世界をどう変えるか

◆チーム部門

本選でプレゼンする探究学習について、以下の4点を述べてください。

1. 探究の目的
2. 探究の成果
3. 世界をどう変えるか
4. なぜチームとして探究を行い本大会へ参加したのか

※エッセイを作成する前に、ページ後半の「地方ブロック予選審査基準」をご覧いただくことをお勧めします。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

cma!
Change Maker Awards

地方ブロック決勝

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝（1）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

日　付	内　容
12月26日	地方ブロック予選結果発表 ・地方ブロック予選を通過した個人・チームは地方ブロック決勝に進みます。
12月27日	地方ブロック決勝用動画の受付開始
2月　2日	地方ブロック決勝用動画の受付締切
2月13日	地方ブロック決勝結果発表 ・地方ブロック決勝を通過した個人・チームは全国大会に進みます。

地方ブロック決勝では、動画を審査して全国大会進出者を選出します。出場者は、審査当日に参加する必要はありません。

◆地方ブロック決勝用動画の受付開始

- 地方ブロック決勝用動画の受付を開始します。
- 地方ブロック予選で提出したエッセイをもとにして、英語によるプレゼンテーションを動画にして提出していただきます。**提出物は動画のみ**です。

◆発表内容

- 全国大会を想定したプレゼンテーション内容にしてください。
- **使用言語は英語**です。
- 動画としての完成度よりも発表内容やプレゼンテーション能力に対して審査し評価します。
- 要点が簡潔でオリジナリティあふれる内容を期待します。

◆動画について

- 動画の**収録時間は4分以内**です。4分を超えないように注意してください。
- ファイル形式は、一般的によく用いられている**「.mov」形式、あるいは「,mp4」形式**とします。録画する際にどちらかのファイル形式になっていることを確認してください。
- ファイル容量は1GB以内です。提出する前に必ず確認してください。
- 撮影環境（環境音、明るさ、声の反響等）にご注意ください。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved

地方ブロック決勝（2）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆注意事項

※撮影機材についての指定はありませんが、スマホをご利用の場合は特に、録画時の音量にご注意ください。

※審査結果に関わらずデータ等の返却は行いません。

◆事務局のチェックについて

提出いただいた動画は、地方ブロック決勝前に事務局側にてチェックを行います。チェックする内容は下記の通りです。

- 発表者の声が聞き取れるかどうか
  声が小さすぎる、あるいは大きすぎて聞き取れない場合はNG。
- 発表者や周囲の様子が見えるかどうか
  暗すぎる、明るすぎて見えづらい場合はNG。
- スライドの文字が読めるかどうか
  スライドの文字が小さすぎる、あるいは大きすぎる、明るさの加減で読めないなどの場合はNG。
- **前ページの「動画について」に記載されている項目に反する場合はNG。**

発表者の発言内容やスライドの内容など、プレゼンテーションの内容についてはチェックをしません。

上記のチェック項目を必ず確認してから提出してください。

チェックの結果、NGの箇所が見つかった場合は再提出していただきます。問題ない場合は提出完了となります。再提出でNGの場合は再々提出していただきます。**一度受理した動画は再提出できませんのでご注意ください。**

締め切り間際に提出してNGだった場合、再提出日が締切日を過ぎてしまう可能性があります。NGだった場合でも再提出できるように早めに提出してください。

◆提出方法

電子メールの添付ファイルにて提出してください。提出先は、info@esibla.or.jp です。

本文には学校名と出場者の名前（チームの場合はチーム名）を必ず明記してください。

動画の提出後、2～3日以内にチェックの結果をお知らせします。（チェックOKの場合はそのまま提出完了となりますので、地方ブロック決勝結果発表日までお待ちください）

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝（3）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆地方ブロック決勝審査基準をお読みください

地方ブロック決勝は「地方ブロック決勝審査基準」に従って審査を行います。本概要に収録されている「地方ブロック決勝審査基準」を必ずお読みの上、動画を作成してください。

◆動画サンプルをご覧ください

過去の動画の好事例をご覧になってください。

- 個人部門
  - 第2回CMA銀賞 横浜市立南高等学校 加藤舞さん
  - 第4回CMA金賞 足立学園高等学校 八幡昂樹さん
  - 第5回CMA金賞 筑陽学園高等学校 春山夏菜絵さん
- チーム部門
  - 第2回CMA銅賞 徳島県立城ノ内高等学校 エイミーの皆さん
  - 第4回CMA銀賞 東京学芸大学附属国際中等教育学校 KMAKの皆さん
  - 第5回CMA銀賞 品川女子学院高等部 JasminePeach Educationの皆さん

    ※上記動画は、ブラウザによってはすぐに再生されず、ディスクに保存される場合があります。

◆動画が送信できない場合

ご使用のメールアドレスから動画が送れない場合は、Gmailなど無料のメールアドレスを使って送ってください。

セキュリティの関係で学校のメールアドレスから送れない、というケースが多数報告されていますのでご注意ください。

ストレージサービスを使っての動画送信もお勧めします。

Googleで「ストレージサービス」で検索してサービスをご利用ください。

◆スライドの形式について

プレゼンテーションで映し出すために使用するスライドは、特に指定はありません。また、プレゼンテーションファイルを提出していただく必要もありません。

なお、全国大会に出場する際に提出していただくスライドは、Microsoft社のPower Pointのみとなっております。全国大会を見据えてPower Pointのご利用をお勧めします。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝（4）
動画作成のためのチェックシート

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

動画提出の前に、チェックしてみましょう。

★動画作成時

□使用している言語は英語である。

□話し手の姿が映像の中にあり、口の動きが確認できる。

□聞き取りやすい音量である。

□見やすい明るさである。

□スライドに記載されている文字がすべて読み取れる。

□スライドには他人の著作物を使用していない。

□収録時間は4分以内である。

□ファイルの形式はmov形式、あるいはmp4形式である。

□ファイルの容量は1GB以内である。

★メール送付時

□メールに添付するファイルは動画ファイルのみである。

□メールの送付先は info@esibla.or.jp である。

□メール本文には、学校名、出場者名、チーム部門の場合はチーム名を明記する。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝（5）FAQ-1

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆FAQ（よくある質問と回答）

- **参加者は動画の中に必ず映っていないといけませんか？**
  →原則として全員が動画の中に映っているようにしてください。
- **コロナ感染防止のためZoomを使って動画撮影してもよいですか？**
  →はい。Zoomを使って撮影しても問題ありません。
- **スライドは必要ですか？**
  →はい。必要です。
- **話者が後ろを向いて話しても構いませんか？**
  →短時間であれば構いません。原則的に話者は、カメラやスライドを向いて話してください。
- **ディズニーなどのキャラクターをスライドに用いてもよいですか？**
  →用いないでください。
- **インターネット上で無料提供しているイラストをスライドに用いてもよいですか？**
  →イラストの提供者に確認してください。
- **発表中に、資料を見ながらプレゼンテーションすることは可能ですか？**
  →資料の投影などを確認しながらプレゼンテーションを行うことは地方ブロック決勝・全国大会共に可能です。発表原稿を読み上げることは地方ブロック決勝においては可能ですが、パフォーマンスの観点から点数が低くなる可能性があります。全国大会は原則として発表原稿を見ながらの発表は禁止です。
- **地方ブロック予選のエッセイで書いたことと異なる内容を、地方ブロック決勝の動画に入れてもよいでしょうか？　課題や解決策は変わらないのですが、地方ブロック予選後に実験をしたら結果が少し変わってしまったので、その部分を変えたいと思っています。**
  →はい。異なる内容を入れても問題ありません。ちなみに、探究のテーマや課題を大きく変更することはできません。
- **地方ブロック予選を通過したので賞状をいただけますか？**
  →賞状はお贈りしておりません。
- **海外アーティストの楽曲の替え歌を作ってプレゼンで発表してもよいですか？**
  →できません。著作権のある楽曲や歌詞を替え歌として使用した場合、著作権者から何らかの要求を受ける可能性があるからです。著作権フリーの楽曲をダウンロードし、それに歌詞を加えるなどして対応してください。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved

地方ブロック決勝（6）FAQ-2

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

- **プレゼンの英語のタイトルを変更したいのですが、それは可能でしょうか。話す内容を考えているうちに今のタイトルでは自分のメッセージを正確に伝えられないと感じ、変えたいと思いました。発表内容は変わらず、タイトルに1語付け加えたいのですが、それはできますか？**
  →はい。探究のテーマや課題が大幅に変更されなければ、タイトルの変更は可能です。
- **学校でコロナのクラスターが発生し休校となってしまいました。生徒には外出自粛が要請されています。動画について、各自のセリフを各々ビデオ形式で収録し、メンバー全員のパートを編集して合わせるという方法で収録しようと考えていますが可能ですか？**
  →はい、可能です。なお、Zoomにてメンバーが一堂に会しているところを録画して提出いただくことも可能です。
- **動画をメールで送ろうとしたらエラーが表示されて送れませんでした。どうしたらよいですか？**
  →無料の大容量ファイル転送サービスをご利用ください。「ストレージサービス」あるいは「大容量ファイル転送サービス」で検索するといくつかサービスが表示されますので、その中から選んでご利用ください。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

cma!
Change Maker Awards

全国大会

※第5回CMA全国大会より

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

全国大会

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

地方ブロック決勝を通過した方は、2024年3月24日（日）に開催される全国大会へ出場していただきます。

全国大会では、地方ブロック予選、および地方ブロック決勝で発表した探究学習について英語でプレゼンテーションしていただきます。プレゼンテーションの時間は7分間です。
全国大会の前に、プレゼンテーション用のスライドを作成して提出していただきます。提出方法などはWebサイトなどでお知らせします。

◆本選日時・会場情報

日時：2024年3月24日（日）10:00-17:00

会場：東京国際交流館プラザ平成

配信：未定

※社会情勢により日時や会場、開催形態を変更する場合があります。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

審査員・司会

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆審査員長

マシュー・J・ウィルソン（Matthew J. Wilson）先生

プロフィール

テンプル大学ジャパンキャンパス学長、法務博士米国アクロン大学学長・法学部長・教授、米国ミズーリ・ウェスタン州立大学学長を歴任、2020年9月より現職。テンプル大学は米国ペンシルベニア州立の総合大学で、その日本校であるテンプル大学ジャパンキャンパスは1982年東京に開校し、現在大学学部課程や大学院、ロースクールなど7つのプログラムを有する。法律家として、米国および日本で多国籍企業の法律顧問通商取引訴訟、知的財産権、国際法、企業間取引などに従事。米国フロリダ州の弁護士資格を有し、国際法が専門。年慶熙大学校（韓国）、名古屋大学、神戸大学、河南大学（中国）客員教授。

出場者へのメッセージ

As a university president and international lawyer, I am so encouraged and inspired by junior high and high school students who actively engage in English language learning and problem-solving activities. As participants in the Change Maker awards competition, you possess the potential to make a meaningful impact on the world around you. Your enthusiasm for learning and desire to generate positive change are truly commendable. I applaud your efforts in taking proactive steps to address the challenges we face, and I am very excited to witness the incredible projects and ideas that participants will present throughout this competition.

It is important to recognize that the path of a change maker is not always easy or smooth. It requires determination, perseverance, and the ability to overcome obstacles along the way. Never give up! It is through these challenges that you will grow and develop into a stronger person. Embrace the opportunities that lie ahead. Your passion in using the English language while seeking to inspire social progress makes you an extraordinary individual.

I extend my sincerest wishes for success to each and every participant.

Matthew J. Wilson

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

審査員・司会

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆審査員

工藤 洋路 先生

プロフィール

玉川大学文学部英語教育学科教授。
東京外国語大学卒業、同大学院修士課程・博士課程修了（学術博士）。
私立の高校教員や大学講師等を経て現職。
専門は英語教育学。特に中学生・高校生に対する指導法や英語の評価方法等について研究。
中学校英語検定教科書NEW CROWN（三省堂）の編集委員。
NHK Eテレの英語番組『知りたガールと学ボーイ』に講師として出演（2019年度～2021年度）。
NHK ラジオ高校講座『英語表現Ⅰ』の講師（2017年度～今年度）

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

審査員・司会

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆審査員

アルカンタラ・ライラーニ・ライネサ（ALCANTARA Lailani L）先生

プロフィール

立命館アジア太平洋大学（APU）国際経営学部長・経営管理研究科長・学校法人立命館理事。筑波大学で経営学の博士号を取得し、2010年にAPUに入職、2021年より国際経営学部初の女性学部長。学部長としての役割に加えて、ダイバーシティとインクルージョンを教育、研究、実践で促進するCenter for Inclusive Leadershipの創設者兼マネージングディレクターを兼務。ビジネススクールの最大の国際的な認定機関であるAssociation to Advance Collegiate Schools of Business（AACSB）の理事会メンバー、Association of Asia Pacific Business Schools（AAPBS）の評議会メンバー。

出場者へのメッセージ

Never underestimate the power you possess to make an impact. Embrace the opportunity to be the catalyst for change. Remember, it all begins with you.

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

審査員・司会

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆審査員

コチュ・オヤ 氏

プロフィール

株式会社Oyraa・代表取締役社長。
東京大学大学院（精密工学）を卒業後ボストンコンサルティンググループ（BCG）に入社し、大手企業の経営・戦略課題に取り組む。言語の壁で困っている個人を助けるサービスがないことに違和感を持ち、個人でも簡単に通訳者を呼び出せるマッチングプラットフォーム（遠隔通訳アプリ）を作るためにBCGを退職し、株式会社Oyraaを創業。内閣府のクールジャパン戦略や知的財産戦略、2025年大阪関西万博日本館政府出展検討会などのプロジェクトに就任。外国人雇用協議会の理事を務める。最近は、新宿区多文化共生まちづくり会に就任。4ヶ国語話せる（トルコ語、英語、日本語、ドイツ語）。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

審査員・司会

◆The Japan Times Alpha賞審査員

高橋　敏之 氏

プロフィール

株式会社ジャパンタイムズ出版 編集長。
学習に特化した週刊英字新聞『The Japan Times Alpha』編集長。慶應義塾大学卒業後、英語講師、英語教材編集者を経て、2007 年にジャパンタイムズ入社。2012 年10 月より現職。本職の傍ら、英語学習や英字新聞活用法などに関する講演も多数実施。
TOEIC 990 点、英検1級、動物検定3級。著書『英語最後の学習法』（ジャパンタイムズ出版）。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved

審査員・司会

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆Global Link賞審査員

及川 秀昭 氏

プロフィール

株式会社JTB 企画開発プロデュースセンター、Global Link 実行委員会 日本事務局長。
株式会社JTB入社後、教育事業に従事。2016年～中国上海駐在帰国後、JTB国際交流センターにてGlobal Linkを初めとしたグローバル教育プログラムの企画運営に従事。
現職にてSDGs・探究学習を軸とした教育プログラム企画開発を担務。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

審査員・司会

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆司会

長谷部 真奈見 氏

プロフィール

株式会社FinCube 代表取締役、経済キャスター。慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、米JPモルガン証券株式会社に入社。投資銀行部門にてM&A（企業の合併・買収）に従事。NY本社勤務中「9.11世界同時多発テロ事件」に遭遇したことをきっかけにジャーナリズムの道を目指しテレビ局に入社。報道番組の記者兼キャスターを務め、現在は金融経済番組のキャスター、ファイナンシャルプランナーとしてメディアに出演中。高校時代は米国へ留学し、オレゴン州イーグルポイントハイスクール卒業。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

交通費・宿泊費の支給について

（前回より変更しました）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

全国大会に出場される方には、一定の条件を満たす場合に限り会場までの交通費・宿泊費を支給いたします。出場する生徒の保護者や家族、友人、担当先生などは支給の対象にはなりませんのでご了承ください。

◆交通費の支給について

自宅から全国大会会場（東京お台場）までの往復の交通費を金額の多寡に関わらず支給します。近郊にお住まいの方にも全額支給します。支給条件は下記の通りです。

- 飛行機や新幹線、特急電車などの利用にも支給します。ただし、ファーストクラスやビジネスクラス、グランクラス、グリーン車などのぜいたくな利用があった場合は、その利用額については対象外とします。
- バスの代わりにタクシーに乗るといった、ぜいたくな利用についても利用額について対象外とします。ただし、タクシーを利用する正当な理由がある場合はその限りではありません。
- 自宅から会場まで迂回するルートを利用する場合は、その利用額については対象外とします。

◆宿泊費の支給について

会場近くのホテルに前泊しないと全国大会への出場ができない、あるいは困難な場合は、宿泊費を支給します。

- 最大1万円まで支給します。1万円を超える金額は出場者が負担してください。

◆支給について

- 支給を希望される方は全国大会の前日までに申請してください。
  申請方法は後日あらためてお知らせします。
- 全国大会終了後に支給します。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

cma!
Change Maker Awards

審査基準

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック予選審査基準
個人部門(1)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆審査基準

1.テーマに指定された内容が全て読み取れるか
Yes / No

2.目的に対して、探究活動の内容が論理的なアプローチとなっているか
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

3.探究活動の実績から、目標達成への進捗が読み取れるか
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

4.探究学習を通じて実現したいChange が具体的に述べられているか
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

5.探究活動の成果を具体的にわかりやすく述べているか
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

◆解説

1.「テーマに指定された内容が全て読み取れるか」
エッセイテーマに指定された4点が全てエッセイの中に盛り込まれているかを評価します。

2.「目的に対して、探究活動の内容が論理的なアプローチとなっているか」
目的とは、探究活動のゴールに相当します。ここでは、探究学習の内容がどうやってゴールの達成に繋がるのかを論理的に説明しているかを評価します。
論理的と判断される例:
目的:特定海域でのクラゲの大量発生による被害を小さくする
探究学習内容:・クラゲの天敵である生物の繁殖促進方法の研究
・発生したクラゲの商品化プロジェクト
非論理的と判断される例:
目的:特定海域でのクラゲの大量発生による被害を小さくする
探究学習内容:・クラゲの大量発生の実態についてまとめたレポートの作成
※まとめ学習は情報の整理であり、目的に直接アプローチするものではありません。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック予選審査基準
個人部門(2)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

3.「探究活動の実績から、目標達成への進捗が読み取れるか」

エッセイテーマの1つ「探究の実績」から、目標達成への進捗が読み取れるかを評価します。

進捗が読み取れる例:

目的:ボランティアで訪れた農村部の子供たちの計算能力を高める

探究学習内容:子供たちの計算能力を伸ばす教育メソッドやツールの研究

目標達成への進捗:教育メソッドやツールの実践前後で、子供たちの計算問題に対する考え方がどう変わったかの記録と考察、計算テストのスコア平均値にどれだけの変化が出たかの記録など

進捗が読み取れない例:

目的:ボランティアで訪れた農村部の子供たちの計算能力を高める

探究学習内容:子供たちの計算能力を伸ばす教育メソッドやツールの実践記録

※授業で何を行ったかのみが詳細にまとめられている発表では、目的に対してどれだけの進捗が生まれたのかが読み取れません。

4.「探究学習を通じて実現したいChange が具体的に述べられているか」

探究学習の目的達成が、世界にどんなChange を起こすのかについて説明されているかを評価します。

Change が述べられている例:

Change:廃棄食品を出さないY有効活用するビジネスモデルを示し、食品ロス削減の輪を広げる

目的:あるパン屋の廃棄商品を減らす

探究学習内容:顧客の出入りのパターンや値下げのタイミング、商品の生産量などを分析し、廃棄商品が実質0になる営業パターンを研究

Change が述べられていない例:

目的:あるパン屋の廃棄食品を減らす

探究学習内容:顧客の出入りのパターンや値下げのタイミング、商品の生産量などを分析し、廃棄食品が実質0になる営業パターンを研究

※目的に対するアプローチは取られていますが、自分の探究が持つ社会的インパクトについて考察されていません。

5.「探究活動の成果を具体的にわかりやすく述べているか」

探究活動の結果、どのような成果が得られたかを具体的にわかりやすく述べているかどうかを測ります。成果をまったく述べていない場合は1、不明瞭な場合は2～3で評価。

※「1」がNoの場合、スコアは0点になります。
※最大スコアは28点です。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック予選審査基準
チーム部門（1）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

◆審査基準

1.テーマに指定された内容が全て読み取れるか
Yes / No

2.目的に対して、探究活動の内容が論理的なアプローチとなっているか
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

3.チームワークが探究活動の推進力となっているか
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

4.探究学習を通じて実現したいChange が具体的に述べられているか
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

5.探究活動の成果を具体的にわかりやすく述べているか
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7

◆解説

1.「テーマに指定された内容が全て読み取れるか」
エッセイテーマに指定された4点が全てエッセイの中に盛り込まれているかを評価します。

2.「目的に対して、探究活動の内容が論理的なアプローチとなっているか」
目的とは、探究活動のゴールに相当します。ここでは、探究学習の内容がどうやってゴールの達成に繋がるのかを論理的に説明しているかを評価します。
論理的と判断される例：
目的：特定海域でのクラゲの大量発生による被害を小さくする
探究学習内容：・クラゲの天敵である生物の繁殖促進方法の研究
・発生したクラゲの商品化プロジェクト
非論理的と判断される例：
目的：特定海域でのクラゲの大量発生による被害を小さくする
探究学習内容：・クラゲの大量発生の実態についてまとめたレポートの作成
※まとめ学習は情報の整理であり、目的に直接アプローチするものではありません。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック予選審査基準
チーム部門（2）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

3.「チームワークが探究活動の推進力となっているか」

チームメンバーの長所を活かすなど、チームとして活動する上での工夫が行われているかを評価します。具体的なチームワークの内容を仔細に説明する必要はありませんが、チームとして取り組んだことでどのようなポジティブな面が探究活動に現れたか、エッセイ中で触れてください。

チームワークが読み取れる例：

この実験では、2時間ごとの経過記録が必要だったため、毎日のローテーションを組みました。部活動の関係からローテーションに参加できなかった生徒は、別の時間で次の実験で必要となるモデルの作成に取り組みました。

チームワークが読み取れない例：

この実験では、2時間ごとに経過記録を取りました。2種類のモデルを準備し、それぞれの経過記録の差分からモデルAの効果の高いことがわかりました。

4.「探究学習を通じて実現したいChange が具体的に述べられているか」

探究学習の目的達成が、世界にどんなChange を起こすのかについて説明されているかを評価します。

Change が述べられている例：

Change：廃棄食品を出さない/有効活用するビジネスモデルを示し、食品ロス削減の輪を広げる
目的：あるパン屋の廃棄商品を減らす
探究学習内容：顧客の出入りのパターンや値下げのタイミング、商品の生産量などを分析し、廃棄商品が実質0になる営業パターンを研究

Change が述べられていない例：

目的：あるパン屋の廃棄食品を減らす
探究学習内容：顧客の出入りのパターンや値下げのタイミング、商品の生産量などを分析し、廃棄食品が実質0になる営業パターンを研究
※目的に対するアプローチは取られていますが、自分の探究が持つ社会的インパクトについて考察されていません。

5.「探究活動の成果を具体的にわかりやすく述べているか」

探究活動の結果、どのような成果が得られたかを具体的にわかりやすく述べているかどうかを測ります。成果をまったく述べていない場合は1、不明瞭な場合は2～3で評価。

※「1」がNoの場合、スコアは0点になります。
※最大スコアは28点です。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝審査基準
個人部門（1）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

英語力14ポイント、内容90ポイント、満点104ポイント

〇Delivery 7×2＝14points

1. The voice of speaker is:
   hard to hear 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 easy to hear
   聞き取りやすい発声、発音であれば7。カタカナ英語や抑揚をつけない話し方、速すぎたり遅すぎたりして聞き取りづらい話し方などは1～3で評価。

2. He/She uses body language:
   poorly 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 well
   より伝わりやすいようにボディランゲージを使った話し方をしていれば程度に応じて4～7で評価。あまり体を動かさない、顔で喜怒哀楽を表さない場合は1～3で評価。

〇Content（7×6＋3×1＝45points）×2＝90points

1. The objective of his/her action to make change was stated:
   ineffectively 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 effectively
   目標と自らが起こすChange を具体的に述べられているかを評価します。達成目標を提示したアクションが有効なレベルまで具体化していれば程度によって4～7。提示したアクションに対し、問題や達成目標が抽象的または大きすぎる場合は程度によって1～3。
   例1：
   問題：より良い世界の実現
   目標（Object）：質の高い教育の機会を平等にする
   アクション：良い教育を広げる
   →1～3の評価
   例2：
   問題：プラスチックによる海洋汚染
   目標・夢（Object）：特定海域のクラゲの大量発生を止める
   アクション：・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
   ・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
   →4～7の評価

2. Both the motivation and background of his/her activity are explained and appealed to the audience:
   poorly 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 well
   探究テーマを選定した動機と探究活動の背景が明確に語られれば、程度に応じて4～7の評価。上記が不明確、または語られなかった場合は、程度に応じて1～3の評価。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝審査基準
個人部門(2)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

3. His/Her action plan was carried out with a unique and logical perspective:

unsuccessfully 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 successfully

1の目標(Object)に対し、アクションに至る視点の論理性と具体性を測ります。目標(Object)の実現のため、どういう視点でアクションを考えたか説明があれば論理性と具体性の程度に応じて4～7の評価。視点の論理性と具体性が不十分であれば、程度に応じて1～3の評価。

例1:

問題:より良い世界の実現
目標・夢(Object):質の高い教育の機会を平等にする
視点:良い教育をすべての人が享受できれば、より良い世界になる
アクション:良い教育の機会を広げる
→教育の質と機会と「良い世界」の関係性が説明なく、視点の論理性と具体性が乏しい。
→1～3の評価

例2:

問題:プラスチックによる海洋汚染
目標・夢(Object):特定海域のクラゲの大量発生を止める
視点:・クラゲを人為的に取り除くマンパワーが足りないので、人間以外の生物を使って駆除できるようにしよう
・クラゲの大量発生は様々な要因があるので、発生しているクラゲが利益を生むシステムを作ろう
アクション:・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7の評価

4. His/Her action to make change was explained:

illogically 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 logically

1の目標(Object)に対するアクションの効果を測ります。目標(Object)に対するアクションの効果が論理的に説明されていれば程度に応じて4～7の評価。目標(Object)に対するアクションの論理性が説明されていない、または説明が不十分であれば1～3の評価。

例1:

問題:より良い世界の実現
目標(Object):質の高い教育の機会を平等にする
アクション:良い教育の機会を広げる。特定地域での教育ボランティアを行う。
→1～3 の評価。アクションによる目標への効果の程度や仕組みが論理的に説明されていない。

例2:

問題:プラスチックによる海洋汚染
目標(Object):特定海域のクラゲの大量発生を止める
アクション:プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、ゴミの減少とクラゲの天敵である在来種の増加を観察
→4～7の評価。アクションによる問題への効果計測が示されている。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝審査基準
個人部門（3）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

5. Each idea is supported by specific examples (data, anecdotes, facts, etc.):
weakly 1 — 2 — 3 strongly
プレゼンテーション全体で述べられる主張が、自ら取ったデータや他者の調査データ、または仮説などによって補強されているかを測ります。

6. The speaker explains how his or her idea can contribute to the world:
illogically 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 logically
問題と目標（Object）の相互関係が論理的に説明されているかどうかを測ります。提示した問題に対し、目標の実現が問題解決に繋がるものであるかどうか、論理的に説明されていれば、程度に応じて4～7の評価。説明がない、または論理性が不十分であれば1～3の評価。
例1：
問題：より良い世界の実現
目標（Object）：質の高い教育の機会を平等にする
アクション：良い教育を広げる
→1～3 の評価。「教育の機会平等化」がどのように「より良い世界の実現」と繋がるのか、説明が不十分。
例2：
問題：プラスチックによる海洋汚染
目標（Object）：特定海域のクラゲの大量発生を止める
アクション：・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7 の評価。「特定海域のクラゲの大量発生」の原因としてプラスチック汚染を挙げ、その問題解決の過程でプラスチック汚染軽減につながるアクションを取っている。

7. The results of inquiry learning are:
difficult to understand 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 easy to understand
探究活動の結果、どのような成果が得られたかを具体的にわかりやすく述べているかどうかを測ります。成果をまったく述べていない場合は1、不明瞭な場合は2～3で評価。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝審査基準
チーム部門（1）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

英語力14ポイント、内容84ポイント、満点98ポイント

〇Delivery 7×2＝14points

1. The voice of speakers are:
   hard to hear 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 easy to hear
   聞き取りやすい発声、発音であれば7。カタカナ英語や抑揚をつけない話し方、速すぎたり遅すぎたりして聞き取りづらい話し方などは1～3で評価。

2. They use body language:
   poorly 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 well
   より伝わりやすいようにボディランゲージを使った話し方をしていれば程度に応じて4～7で評価。あまり体を動かさない、顔で喜怒哀楽を表さない場合は1～3で評価。

〇Content（7×6＝42points）×2＝84points

1. The research questions including the background information on the topic are stated:
   unclearly 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 clearly
   探究テーマを選定した動機と探究活動の背景が明確に語られれば、程度に応じて4～7の評価。上記が不明確、または語られなかった場合は、程度に応じて1～3の評価。

2. An effective research method for the study theme is used:
   unsuccessfully 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 successfully
   アクションの効果を証明するために、効果的な調査が行われているかを評価します。効果的と思われる調査が行われていれば、その論理性に応じて4～7の評価。
   例1：
   主張（idea）：良い教育をすべての人が享受できれば、より良い世界になる
   調査：「良い教育を全人類が受けたら、世界が良くなるか」を100人にアンケートを取った
   アクション：良い教育の機会を広げる
   →1～3 の評価
   例2：
   問題：プラスチックによる海洋汚染
   目標：特定海域のクラゲの大量発生を止める
   視点：・クラゲを人為的に取り除くマンパワーが足りないので、人間以外の生物を使って駆除できるようにしよう
   ・クラゲの大量発生は様々な要因があるので発生しているクラゲが利益を生むシステムを作ろう
   調査：・クラゲをマンパワーで回収するときのコストを計算した
   ・クラゲが大量発生する時期を調査し、アクションを行うスケジュールを設計した

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝審査基準
チーム部門（2）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

アクション：・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案しクラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7の評価

3. Action plan was carried out with a unique and logical perspective:
unsuccessfully 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 successfully
目標（Object）に対し、アクションに至る視点の論理性と具体性を測ります。目標（Object）の実現のため、どういう視点でアクションを考えたか説明があれば、論理性と具体性の程度に応じて4～7の評価。視点の論理性と具体性が不十分であれば、程度に応じて1～3の評価。
例1：
問題：より良い世界の実現
目標・夢（Object）：質の高い教育の機会を平等にする
視点：良い教育をすべての人が享受できれば、より良い世界になる
アクション：良い教育の機会を広げる
→教育の質と機会と「良い世界」の関係性が説明なく、視点の論理性と具体性が乏しい。
→1～3の評価
例2：
問題：プラスチックによる海洋汚染
目標・夢（Object）：特定海域のクラゲの大量発生を止める
視点：・クラゲを人為的に取り除くマンパワーが足りないので、人間以外の生物を使って駆除できるようにしよう
・クラゲの大量発生は様々な要因があるので、発生しているクラゲが利益を生むシステムを作ろう
アクション：・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7の評価

4. Action to make change was explained:
illogically 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 logically
目標（Object）に対するアクションの効果を測ります。目標（Object）に対するアクションの効果が論理的に説明されていれば、程度に応じて4～7の評価。目標（Object）に対するアクションの論理性が説明されていない、または説明が不十分であれば1～3の評価。
例1：
問題：より良い世界の実現
目標（Object）：質の高い教育の機会を平等にする
アクション：良い教育の機会を広げる。特定地域での教育ボランティアを行う。
→1～3 の評価。アクションによる目標への効果の程度や仕組みが論理的に説明されていない

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

地方ブロック決勝審査基準
チーム部門（3）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

例2：
問題：プラスチックによる海洋汚染
目標（Object）：特定海域のクラゲの大量発生を止める
アクション：プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、ゴミの減少とクラゲの天敵である在来種の増加を観察→4～7の評価。アクションによる問題への効果計測が示されている。

5. The speaker explains how his or her idea can contribute to the world:
illogically 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 logically
問題と目標（Object）の相互関係が論理的に説明されているかどうかを測ります。提示した問題に対し、目標の実現が問題解決に繋がるものであるかどうか、論理的に説明されていれば、程度に応じて4～7の評価。説明がない、または論理性が不十分であれば1～3の評価。
例1：
問題：より良い世界の実現
目標（Object）：質の高い教育の機会を平等にする
アクション：良い教育を広げる
→1～3 の評価。「教育の機会平等化」がどのように「より良い世界の実現」と繋がるのか、説明が不十分。
例2：
問題：プラスチックによる海洋汚染
目標（Object）：特定海域のクラゲの大量発生を止める
アクション：・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7 の評価。「特定海域のクラゲの大量発生」の原因としてプラスチック汚染を挙げ、その問題解決の過程でプラスチック汚染軽減につながるアクションを取っている。

6. The results of inquiry learning are:
difficult to understand 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 easy to understand
探究活動の結果、どのような成果が得られたかを具体的にわかりやすく述べているかどうかを測ります。成果をまったく述べていない場合は1、不明瞭な場合は2～3で評価。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

全国大会審査基準
個人部門（1）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

英語力14ポイント、内容114（90+24）ポイント、満点128ポイント

〇Delivery 7×2＝14points

1. The voice of speaker is:
   hard to hear 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 easy to hear
   聞き取りやすい発声、発音であれば7。カタカナ英語や抑揚をつけない話し方、速すぎたり遅すぎたりして聞き取りづらい話し方などは1～3で評価。

2. He/She uses body language:
   poorly 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 well
   より伝わりやすいようにボディランゲージを使った話し方をしていれば程度に応じて4～7で評価。あまり体を動かさない、顔で喜怒哀楽を表さない場合は1～3で評価。

〇Content（7×6+3×1＝45points）×2＝90points

1. The objective of his/her action to make change was stated:
   ineffectively 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 effectively
   目標と自らが起こすChange を具体的に述べられているかを評価します。達成目標を、提示したアクションが有効なレベルまで具体化していれば、程度によって4～7。提示したアクションに対し、問題や達成目標が抽象的または大きすぎる場合は、程度によって1～3。
   例1：
   問題：より良い世界の実現
   目標（Object）：質の高い教育の機会を平等にする
   アクション：良い教育を広げる
   →1～3 の評価
   例2：
   問題：プラスチックによる海洋汚染
   目標・夢（Object）：特定海域のクラゲの大量発生を止める
   アクション：・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
   ・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
   →4～7 の評価

2. Both the motivation and background of his/her activity are explained and appealed to the audience:
   poorly 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 well
   探究テーマを選定した動機と探究活動の背景が明確に語られれば、程度に応じて4～7の評価。上記が不明確、または語られなかった場合は、程度に応じて1～3の評価。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

全国大会審査基準
個人部門(2)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

3. His/Her action plan was carried out with a unique and logical perspective:

unsuccessfully 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 successfully

1の目標(Object)に対し、アクションに至る視点の論理性と具体性を測ります。目標(Object)の実現のため、どういう視点でアクションを考えたか説明があれば、論理性と具体性の程度に応じて4～7の評価。視点の論理性と具体性が不十分であれば、程度に応じて1～3の評価。

例1:

問題:より良い世界の実現
目標・夢(Object):質の高い教育の機会を平等にする
視点:良い教育をすべての人が享受できれば、より良い世界になる
アクション:良い教育の機会を広げる
→教育の質と機会と「良い世界」の関係性が説明なく、視点の論理性と具体性が乏しい
→1～3の評価

例2:

問題:プラスチックによる海洋汚染
目標・夢(Object):特定海域のクラゲの大量発生を止める
視点:・クラゲを人為的に取り除くマンパワーが足りないので、人間以外の生物を使って駆除できるようにしよう
・クラゲの大量発生は様々な要因があるので、発生しているクラゲが利益を生むシステムを作ろう
アクション:・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7の評価

4. His/Her action to make change was explained:

illogically 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 logically

1の目標(Object)に対するアクションの効果を測ります。目標(Object)に対するアクションの効果が論理的に説明されていれば程度に応じて4～7の評価。目標(Object)に対するアクションの論理性が説明されていない、または説明が不十分であれば1～3の評価。

例1:

問題:より良い世界の実現
目標(Object):質の高い教育の機会を平等にする
アクション:良い教育の機会を広げる。特定地域での教育ボランティアを行う。
→1～3 の評価。アクションによる目標への効果の程度や仕組みが論理的に説明されていない。

例2:

問題:プラスチックによる海洋汚染
目標(Object):特定海域のクラゲの大量発生を止める
アクション:プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、ゴミの減少とクラゲの天敵である在来種の増加を観察
→4～7の評価。アクションによる問題への効果計測が示されている。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

全国大会審査基準
個人部門(3)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

5. Each idea is supported by specific examples (data, anecdotes, facts, etc.):
weakly 1 — 2 — 3 strongly
プレゼンテーション全体で述べられる主張が、自ら取ったデータや他者の調査データまたは仮説などによって補強されているかを測ります。

6. The speaker explains how his or her idea can contribute to the world:
illogically 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 logically
問題と目標(Object)の相互関係が論理的に説明されているかどうかを測ります。提示した問題に対し、目標の実現が問題解決に繋がるものであるかどうか、論理的に説明されていれば、程度に応じて4～7の評価。説明がない、または論理性が不十分であれば1～3の評価。
例1:
問題:より良い世界の実現
目標(Object):質の高い教育の機会を平等にする
アクション:良い教育を広げる
→1～3 の評価。「教育の機会平等化」がどのように「より良い世界の実現」と繋がるのか、説明が不十分。
例2:
問題:プラスチックによる海洋汚染
目標(Object):特定海域のクラゲの大量発生を止める
アクション:・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7の評価。「特定海域のクラゲの大量発生」の原因としてプラスチック汚染を挙げ、その問題解決の過程でプラスチック汚染軽減につながるアクションを取っている。

7. The results of inquiry learning are:
difficult to understand 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 easy to understand
探究活動の結果、どのような成果が得られたかを具体的にわかりやすく述べているかどうかを測ります。成果をまったく述べていない場合は1、不明瞭な場合は2～3で評価。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

全国大会審査基準
個人部門(4)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

〇Performance（3×2＝6points）×4=24points

1. The speaker handles questions:
poorly 1 — 2 — 3 well

2. Completeness of the presentation. His/Her subject is expressed:
1 — 2 — 3
プレゼンテーションとしての完成度を総合的に評価します。Delivery に見られる英語の運用力だけでなく、多彩なプレゼンテーマを聴衆に理解させるための創意工夫が為されているかを下記の評価ポイントの総合点で評価してください。（Yesなら1点、Noなら0点）

評価ポイント：
・テーマに対する聴衆の理解へ配慮する工夫がなされていた（Yes / No）
・一貫した主張を持ってプレゼンテーションが構成されていた（Yes / No）
・質疑応答でのコミュニケーションにおいて、質問に対する回答が明確に語られていた（Yes / No）

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

全国大会審査基準
チーム部門（1）

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

英語力14ポイント、内容108（84+24）ポイント、満点122ポイント

〇Delivery 7×2＝14points

1. The voice of speakers are:
   hard to hear 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 easy to hear
   聞き取りやすい発声、発音であれば7。カタカナ英語や抑揚をつけない話し方、速すぎたり遅すぎたりして聞き取りづらい話し方などは1～3で評価。

2. They use body language:
   poorly 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 well
   より伝わりやすいようにボディランゲージを使った話し方をしていれば程度に応じて4～7で評価。あまり体を動かさない、顔で喜怒哀楽を表さない場合は1～3で評価。

〇Content（7×6＝42points）×2＝84points

1. The research questions including the background information on the topic are stated:
   unclearly 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 clearly
   探究テーマを選定した動機と探究活動の背景が明確に語られれば、程度に応じて4～7の評価。上記が不明確、または語られなかった場合は、程度に応じて1～3の評価。

2. An effective research method for the study theme is used:
   unsuccessfully 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 successfully
   アクションの効果を証明するために、効果的な調査が行われているかを評価します。効果的と思われる調査が行われていれば、その論理性に応じて4～7の評価。
   例1：
   主張（idea）：良い教育をすべての人が享受できれば、より良い世界になる
   調査：「良い教育を全人類が受けたら、世界が良くなるか」を100人にアンケートを取った
   アクション：良い教育の機会を広げる
   →1～3の評価
   例2：
   問題：プラスチックによる海洋汚染
   目標：特定海域のクラゲの大量発生を止める
   視点：・クラゲを人為的に取り除くマンパワーが足りないので、人間以外の生物を使って駆除できるようにしよう
   ・クラゲの大量発生は様々な要因があるので、発生しているクラゲが利益を生むシステムを作ろう
   調査：・クラゲをマンパワーで回収するときのコストを計算した
   ・クラゲが大量発生する時期を調査し、アクションを行うスケジュールを設計した
   アクション：・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
   ・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
   →4～7の評価

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

全国大会審査基準
チーム部門(2)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

3. Action plan was carried out with a unique and logical perspective:

unsuccessfully 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 successfully

目標(Object)に対し、アクションに至る視点の論理性と具体性を測ります。目標(Object)の実現のため、どういう視点でアクションを考えたか説明があれば、論理性と具体性の程度に応じて4～7の評価。視点の論理性と具体性が不十分であれば、程度に応じて1～3の評価。

例1:

問題:より良い世界の実現
目標・夢(Object):質の高い教育の機会を平等にする
視点:良い教育をすべての人が享受できれば、より良い世界になる
アクション:良い教育の機会を広げる
→教育の質と機会と「良い世界」の関係性が説明なく、視点の論理性と具体性が乏しい
→1～3の評価

例2:

問題:プラスチックによる海洋汚染
目標・夢(Object):特定海域のクラゲの大量発生を止める
視点:・クラゲを人為的に取り除くマンパワーが足りないので、人間以外の生物を使って駆除できるようにしよう
・クラゲの大量発生は様々な要因があるので、発生しているクラゲが利益を生むシステムを作ろう
アクション:・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7の評価

4. Action to make change was explained:

illogically 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 logically

目標(Object)に対するアクションの効果を測ります。目標(Object)に対するアクションの効果が論理的に説明されていれば、程度に応じて4～7の評価。目標(Object)に対するアクションの論理性が説明されていない、または説明が不十分であれば1～3の評価。

例1:

問題:より良い世界の実現
目標(Object):質の高い教育の機会を平等にする
アクション:良い教育の機会を広げる。特定地域での教育ボランティアを行う。
→1～3の評価。アクションによる目標への効果の程度や仕組みが論理的に説明されていない

例2:

問題:プラスチックによる海洋汚染
目標(Object):特定海域のクラゲの大量発生を止める
アクション:プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、ゴミの減少とクラゲの天敵である在来種の増加を観察
→4～7の評価。アクションによる問題への効果計測が示されている

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

全国大会審査基準
チーム部門(3)

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

5. The speaker explains how his or her idea can contribute to the world:

illogically 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 logically

問題と目標(Object)の相互関係が論理的に説明されているかどうかを測ります。提示した問題に対し、目標の実現が問題解決に繋がるものであるかどうか、論理的に説明されていれば、程度に応じて4～7の評価。説明がない、または論理性が不十分であれば1～3の評価。

例1:

問題:より良い世界の実現
目標(Object):質の高い教育の機会を平等にする
アクション:良い教育を広げる
→1～3 の評価。「教育の機会平等化」がどのように「より良い世界の実現」と繋がるのか、説明が不十分。

例2:

問題:プラスチックによる海洋汚染
目標(Object):特定海域のクラゲの大量発生を止める
アクション:・プラスチックゴミを効果的に取り除く方法を考案し、クラゲの天敵である在来種を増やす
・効果的にクラゲを取り除き再利用するユニークなシステムを提案
→4～7の評価。「特定海域のクラゲの大量発生」の原因としてプラスチック汚染を挙げ、その問題解決の過程でプラスチック汚染軽減につながるアクションを取っている。

6. The results of inquiry learning are:

difficult to understand 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 easy to understand

探究活動の結果、どのような成果が得られたかを具体的にわかりやすく述べているかどうかを測ります。成果をまったく述べていない場合は1、不明瞭な場合は2～3で評価。

〇Performance (3×2＝6points)×4＝24points

1. They handle questions:

poorly 1 — 2 — 3 well

2. Overall outcome of the presentation. His/her subject is expressed

1 — 2 — 3

プレゼンテーションとしての完成度を総合的に評価します。Delivery に見られる英語の運用力だけでなく、多彩なプレゼンテーマを聴衆に理解させるための創意工夫が為されているかを下記の評価ポイントの総合点で評価してください。(Yesなら1点、Noなら0 点)

評価ポイント:

・プレゼンテーションからチームとしての一体感が感じられた(Yes / No)
・一貫した主張を持ってプレゼンテーションが構成されていた(Yes / No)
・質疑応答でのコミュニケーションにおいて、質問に対する回答が明確に語られていた(Yes / No)

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

大会プライバシーポリシー

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

1. 基本方針

一般社団法人　英語4技能・探究学習推進協会（以下「当協会」といいます）は、当協会が運営する事業、コンテスト、イベントおよび関連サービス（以下、「運営事業」といいます）を利用するお客さま（以下「利用者」といいます）の個人情報の保護および利用者が運営事業を安心して利用しうる体制の構築を目的として、『サービスプライバシーポリシー』（以下、「本ポリシー」といいます）を定め、本ポリシーに基づき個人情報の適切な取得、利用、提供等を行うものとします。

2. 適用範囲

2-1.

本ポリシーは、運営事業において当協会が利用者より取得する個人情報について適用されます。
本ポリシーにおいて個人情報とは、個人情報の保護に関する法律に定める個人情報に加え、以下の情報を指します。

・特定の個人と結びついて使用されるメールアドレス、パスワード、クレジットカードなどの情報
・上記と一体となった購入取引に関する情報、趣味、家族構成、年齢その他の個人に関する属性情報

2-2.

当協会は、本ポリシーとは別に個別サービス毎のプライバシーポリシー（以下、「個別ポリシー」といいます）を定める場合があります。この場合、個別ポリシーに別段の定めがある場合を除き、当該個別サービスに関しては、本ポリシーとともに個別ポリシーが適用されます。

2-3.

運営事業において、当協会の会員や広告主等が主体となって、その提供物・サービスの中でアンケート等を実施し、利用者の個人情報を収集する場合があります。
この場合、会員や広告主等が個人情報の収集・利用・保有・管理等の主体となります。
会員や広告主等は、独自のプライバシーポリシー等を定め、当該プライバシーポリシー等に従い個人情報を取り扱う独立した事業者であり、このような形で収集された個人情報は当協会では保有せず、本ポリシーは適用されません。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved

大会プライバシーポリシー

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

3. 個人情報の取得と管理

3-1.

当協会が利用者の個人情報を取得する際は、利用者が運営事業を利用する上で必要な範囲内で利用目的を特定し、明示します。

なお、当協会が利用者から取得する個人情報は、当協会が提供する各サービス等によって異なります。

3-2.

当協会は、利用者の個人情報について、十分な安全管理措置を講じた上で、業務上必要な範囲かつ、適法で公正な方法で取得および管理します。

4. 利用目的

当協会は、利用者から取得した個人情報を次の目的のため利用します。

なお、本ポリシーとは別に利用目的を通知した場合は、以下の目的に加え、個別に通知した利用目的のために個人情報を利用します。

・利用者の個人認証や運営事業の提供および利用者管理

・運営事業の利用料金の請求、返金

・利用者の申込み・同意に基づく、運営事業利用企業・提携企業・団体等への個人情報の提供

・商品や景品の発送

・運営事業について重要なお知らせの通知

・イベント、コンテストの招待、結果に関する通知、郵送

・個人が特定できないよう加工した上での利用状況等の調査や統計データの作成および社内外への開示

・利用者からの問い合わせへの対応

・上記の利用目的に付随する目的

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

大会プライバシーポリシー

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

5. 第三者提供の有無

5-1.

当協会は、利用者の個人情報を本人の同意を得ずに第三者に開示することは原則としてありません。ただし、以下のような場合、その必要性を十分検討した上で、個人情報を開示することがあります。

・人の生命、身体、財産の保護のために必要がある場合であって、利用者本人の同意を得ることが困難である場合

・公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、利用者本人の同意を得ることが困難である場合

・国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用者本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合

・その他法令により当協会に個人情報の開示又は提供義務が定められている場合

・利用目的の達成に必要な範囲内において、提携先企業等に業務を委託する場合

・提供する情報が利用者本人を特定・識別することのできないものである場合

5-2.

当協会は、個人情報の取り扱いを委託する場合、個人情報を適切に管理できると認められる委託先を選定し、個人情報の安全管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行います。

6. 個人情報の開示・訂正・利用停止等

当協会は、個人情報保護管理者を中心として個人情報を適切に管理します。

個人情報の開示、訂正、削除のお申し出や、個人情報管理に関するお問合せは、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

大会プライバシーポリシー

<個人情報保護管理者 >
事務局長　梶川勝正
<問い合わせ先 >
〒108-0014
東京都港区芝5丁目14-13 アセンド三田7階
一般社団法人　英語4技能・探究学習推進協会　総合窓口

7.プライバシーポリシーの変更

当協会は、本ページに変更後の掲載をすることにより、事前の予告なく本ポリシーの内容を変更することがあります。運営事業をご利用の際には、本ポリシーの最新の内容をご確認ください。

8. 改訂

制定：2018年4月20日

改訂：2021年7月20日

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved

CMAへのご参加にあたっての確認事項

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

CMAに提出いただいた下記の文書・映像の一部あるいは全部は、今後の CMAの活動のために弊会Webサイトなどを通して公開する場合があります。

・地方ブロック予選用のエッセイ
・地方ブロック決勝用の動画（プレゼンテーション資料を含む）
・全国大会用の要約（日本語、および英語）
・全国大会用のプレゼンテーション資料
・学習支援プログラム報告書（写真を含む）
・上記に付帯する文書・映像

全国大会の映像や写真は、弊会 Webサイトや外部サイト（ YouTubeなど）を通して公開する場合があります。

※観客席や会場外 (受付ブース・待ち合わせブースなど）での映像や写真も含まれます。

Copyright © 2023-2024 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会 All Rights Reserved

お問い合わせ

一般社団法人
英語4技能・探究学習推進協会
English four Skills and Inquiry-based learning association

一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会

〒108-0014
東京都港区芝5丁目14−13　アセンド三田7階

TEL:　03-4405-3630
FAX:　03-5432-9907
MAIL: info@esibla.or.jp

▹Change Maker Awards 公式Webサイト
https://esibla.or.jp/change-maker-awards/

▹ESIBLA教育フォーラム
https://esibla.or.jp/esibla-forum/

▹一般社団法人英語4技能・探究学習推進協会HP
https://esibla.or.jp/

▹探究学習白書
https://esibla.or.jp/inquiry-based-learning-white-paper/

お気軽にお問い合わせください。

Copyright © 2022-2023 一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会　All Rights Reserved